

令和7年2月25日

市政記者クラブ 様

スポーツ市民局市民生活部広聴課  
担当：橘・月足（972-3138）

## 令和6年度 第63回市政世論調査の結果について

市政世論調査では、名古屋の住みやすさなどについての市民意識や、市政についての意見などを、毎年1回、市民の皆さまにお聞きしています（調査項目の一覧は別表参照）。このたび、令和6年度（第63回）の調査結果がまとまりましたので、以下のとおりお知らせします。

### 1. 調査概要

- (1) 調査対象 市内に居住する満18歳以上の市民（外国人を含む）
- (2) 標本数 2,000人（住民基本台帳をフレームとする無作為抽出※）
- (3) 調査期間 令和6年11月12日（火曜日）から11月26日（火曜日）
- (4) 調査方法 郵送調査（調査票を郵送、回答は郵送またはインターネットを通じて回収）
- (5) 回収数 911人（回収率45.6%）  
内訳 郵送587人（64.4%）  
インターネット324人（35.6%）
- (6) 設問数 24問（他にフェイス項目8問）
- (7) その他 他の調査手法を検討するため、昨年度に引き続き、試行的にインターネットを利用したアンケート（ネットリサーチ）をあわせて実施しました。

※ 母集団から標本を抽出する手法の一つで、今回は、母集団（市内に居住する満18歳以上の市民）から、区の人口比率に応じて無作為に標本（2,000人）を抽出しました。

### 2. 調査結果

調査結果の詳細は、本市公式ウェブサイト（トップページ＞市政情報＞広報・広聴＞市政世論調査＞令和6年度第63回市政世論調査）からご覧いただけます。

<https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/59-14-26-0-0-0-0-0-0-0.html>



### 3. 調査結果(概要)

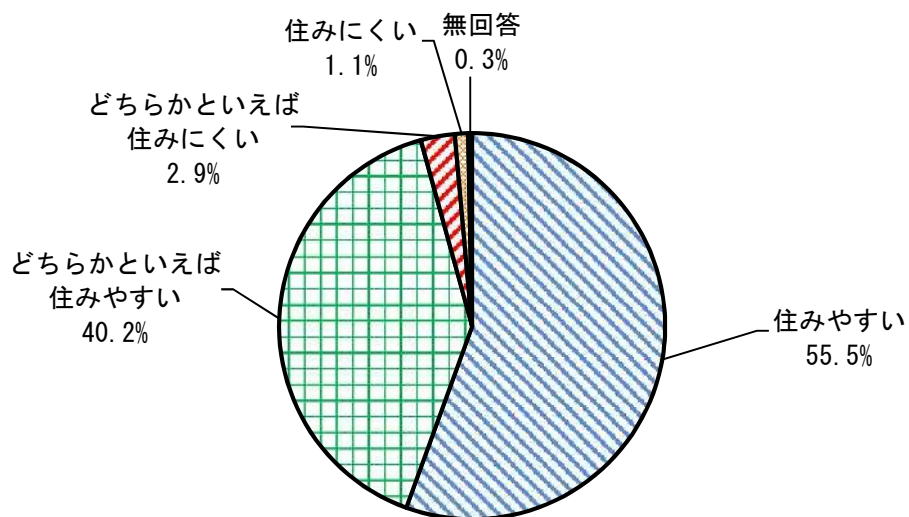
#### ○テーマ1：名古屋市に住みやすさ・魅力について

##### 【名古屋市の住みやすさについて】

##### ・名古屋市が住みやすい<sup>※1</sup>と思う人は9割以上(問1)

※1 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の合計

回答者数=911

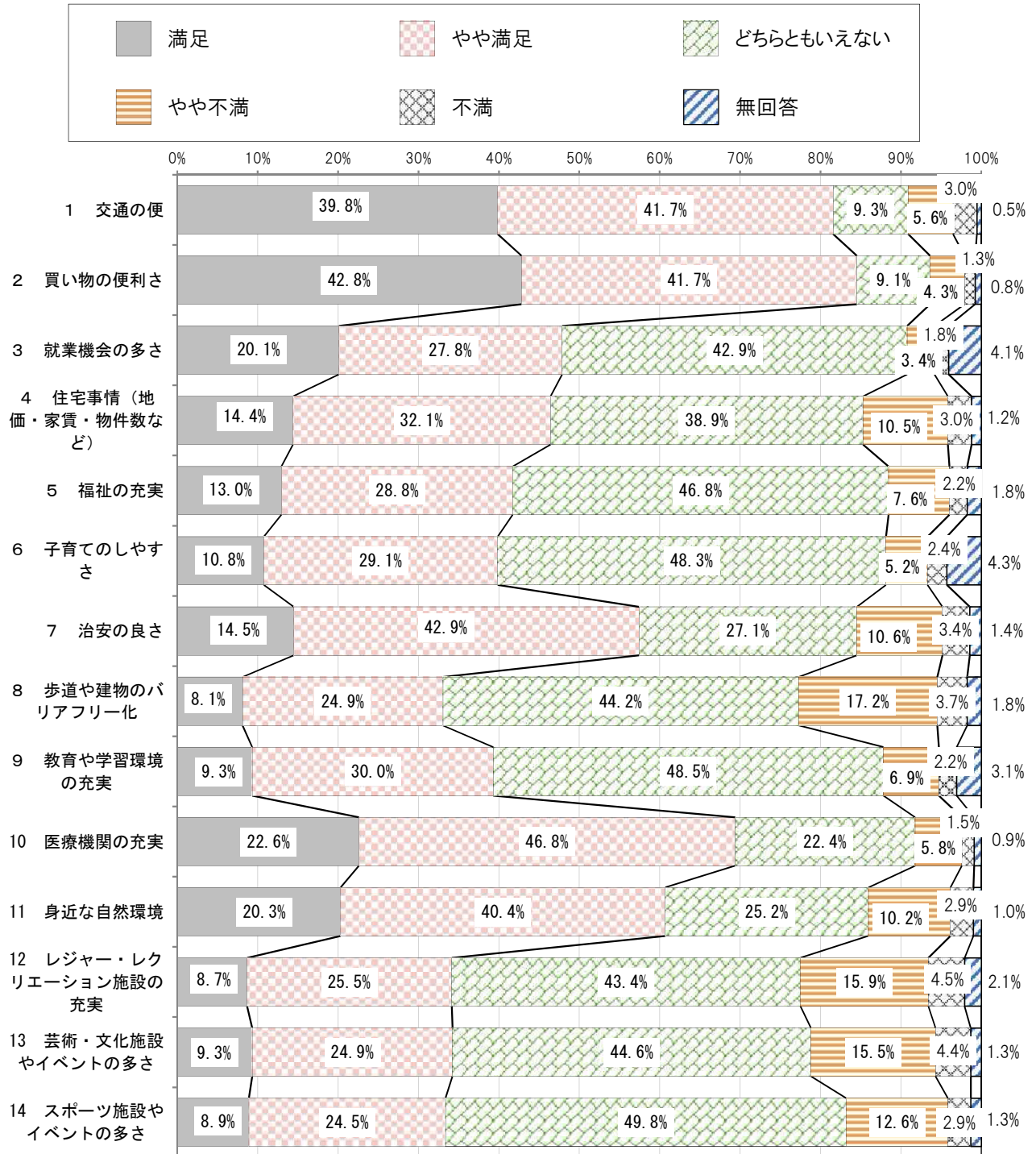


名古屋市が住みやすい<sup>※1</sup>と思う人の割合は、前回の調査から大きな変化は見られませんでした。

・名古屋市の居住環境で満足度が高い※2 のは「買い物の便利さ」と「交通の便」（問2）

※2 「満足」または「やや満足」と答えた人の合計

回答者数=911



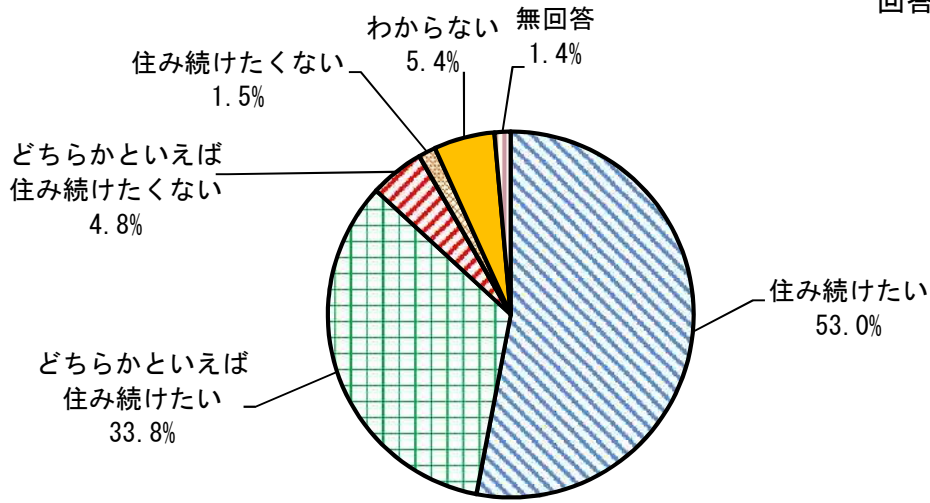
名古屋市の居住環境で満足度が高い※2 のは、「買い物の便利さ」（84.5%）、「交通の便」（81.5%）が8割台と多くなりました。

一方、「歩道や建物のバリアフリー化」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」について、「不満」または「やや不満」と答えた人を合わせた割合は2割台となりました。

・名古屋市に住み続けたい<sup>※3</sup>人は8割以上（問3、4）

※3 「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人の合計

回答者数=911



名古屋市に住み続けたい<sup>※3</sup>人の割合は、前回の調査から大きな変化は見られませんでした。

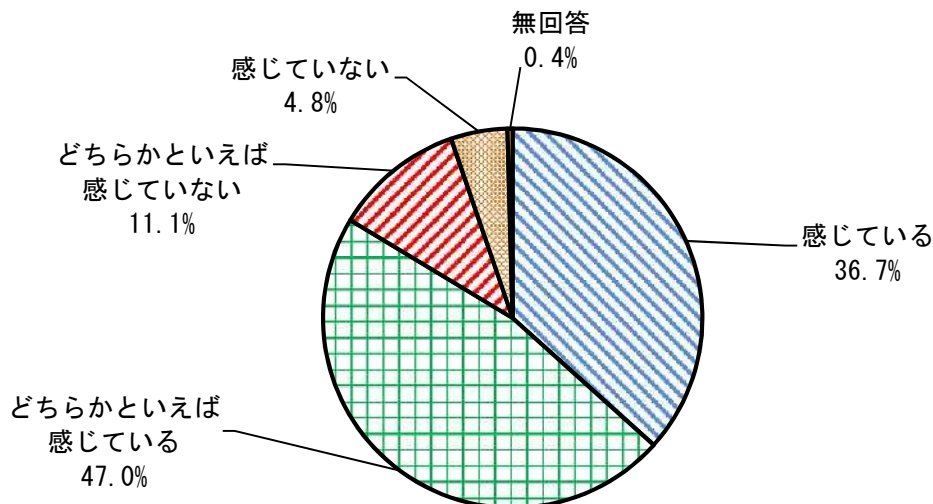
また、名古屋市に住み続けたい<sup>※3</sup>人に、その理由をたずねたところ、「住み慣れているから」（82.8%）と答えた人が8割以上で最も多くなっています。

【名古屋市の魅力について】

・名古屋市に愛着を感じている<sup>※4</sup>人は8割以上（問8）

※4 「感じている」または「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計

回答者数=911



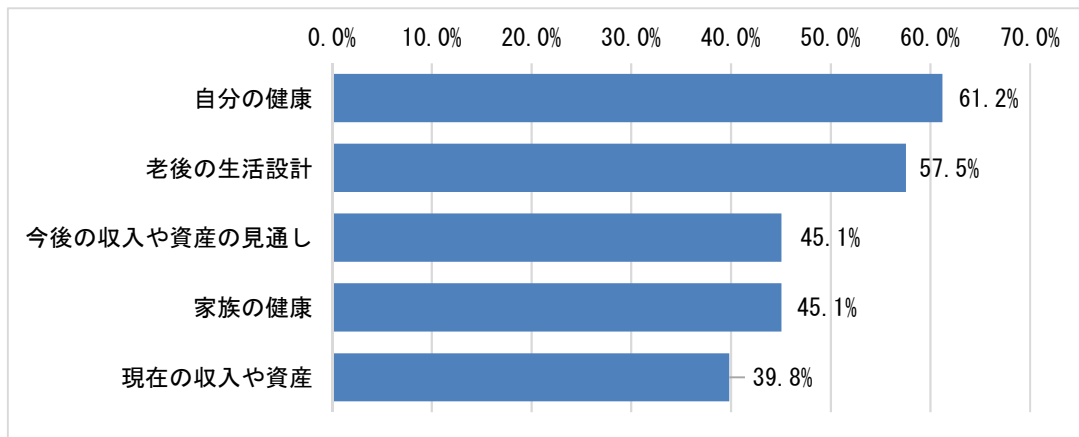
名古屋市に愛着を感じている<sup>※4</sup>人の割合は、前回の調査から大きな変化は見られませんでした。

## 【ご自身の生活について】

- ・日頃の生活の中で悩みや不安を感じていることは「自分の健康」と「老後の生活設計」が約6割（問10、11）

※12ある選択肢のうち、上位5項目を抜粋

回答者数=570



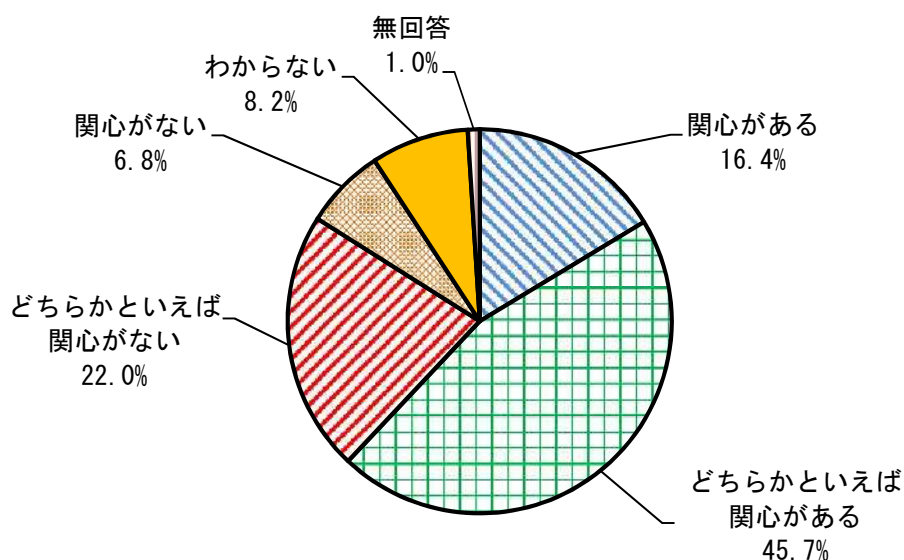
日頃の生活の中で、悩みや不安を「感じている」（23.9%）または「どちらかといえば感じている」（38.6%）と答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の健康」（61.2%）、「老後の生活設計」（57.5%）と答えた人が約6割と多くなりました。

## ○テーマ2：市政について

- ・名古屋市政（市の施策や事業など）に関心がある<sup>※5</sup>人は約6割（問15）

※5 「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた人の合計

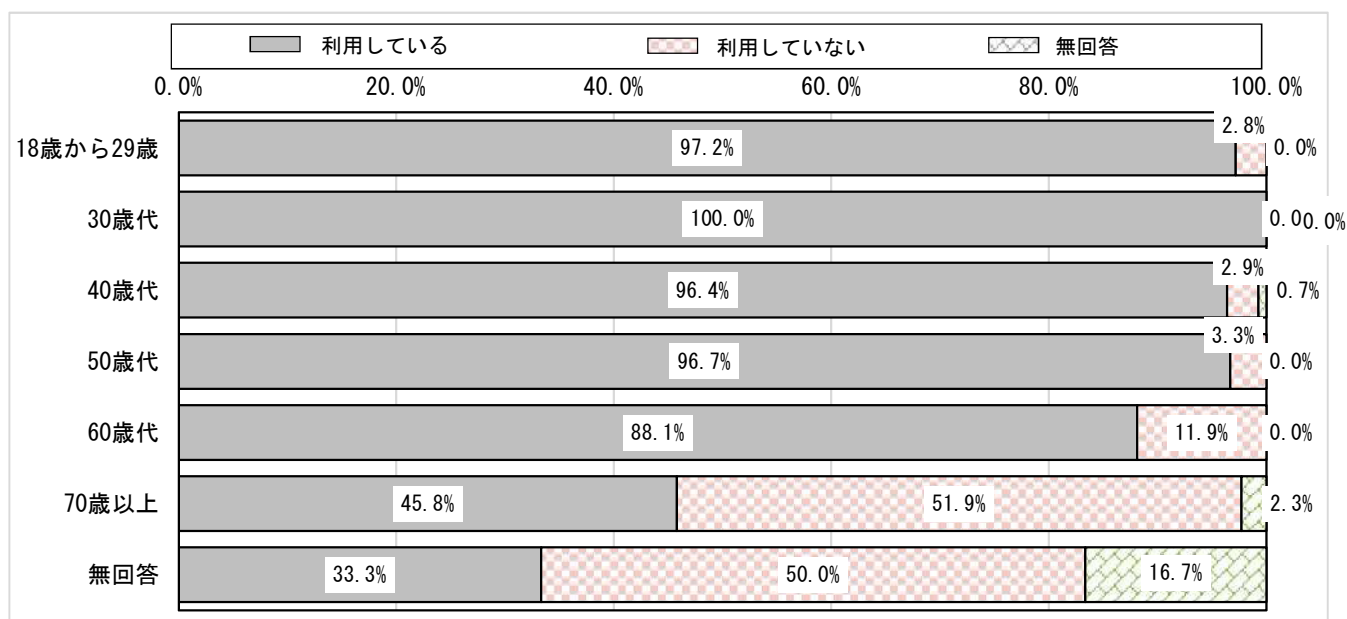
回答者数=911



名古屋市政（市の施策や事業など）に関心がある<sup>※5</sup>人の割合は、前回の調査から大きな変化は見られませんでした。

・インターネットを利用している人は多くの年代で8割以上（問16）

回答者数=911



「インターネットを利用している」と答えた人の割合は、全体で80.5%と多くなりました。また、年代別に見ると、30歳代が100.0%であり、70歳以上（45.8%）を除く全ての年代で8割以上でした。

## 令和6年度 第63回市政世論調査 調査項目一覧

テーマ1 名古屋市の住みやすさ・魅力について	問1 名古屋市の住みやすさ
	問2 名古屋市の居住環境等の満足度
	問3 名古屋市の居留意向
	問4 名古屋市に住み続けたい理由
	問5 名古屋市に住み続けたくない理由
	問6 名古屋市の良いところ
	問7 名古屋市の悪いところ
	問8 名古屋市への愛着度
	問9 生活の充実感
	問10 生活の中の悩みや不安
	問11 生活の中の悩みや不安の理由
	問12 家庭の生活の程度
	問13 生活の満足度
	問14 項目ごとの生活の満足度
テーマ2 市政について	問15 市政への関心
	問16 インターネットの利用
	問17 インターネットの利用用途
	問18 インターネットを利用していない理由
	問19 防災知識・情報収集の手段
	問20 「名古屋市公式LINE」の友だち登録
	問21 「名古屋市公式LINE」の大規模災害時用メニュー訓練の認知度
	問22 「名古屋市公式LINE」の大規模災害時用メニュー訓練の利用状況
	問23 「名古屋市公式LINE」の大規模災害時用メニューの便利だと感じた機能
	問24 市政への意見・要望